

はしも、
まちも、
ひとも。

第16期

中間株主通信

平成30年4月1日 ▶ 平成30年9月30日



代表取締役社長

新井 英雄

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

第16期の第2四半期(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)の当社の事業概況等について、ここにご報告申し上げます。

業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進む中で、個人消費や設備投資の持ち直しがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。先行きにつきましては、補正予算など各種政策の効果もあって景気は緩やかな回復基調が続くものと思われま。

国内建設市場におきましては、手持ち工事が高水準にある中、堅調な公共投資に加え、維持・更新、省力化への設備投資や、首都圏を中心とした再開発事業などの活発な民間投資もあって、建設需要は底堅く推移しました。今後は建設工事が繁忙期に入り、資材・労務の逼迫などによる建設コストの上昇のリスクが懸念されることには十分留意しておく必要があります。

このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、以下の通りとなりました。

売上高につきましては、工事の出来高進捗率の影響等により、前年同期比で21億円減少し、1,917億円となりました。利益につきましては、売上総利益が減少したこと等により、営業利益は125億円(前年同期比12億円減少)、経常利益は125億円(前年同期比10億円減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は88億円(前年同期比5億円減少)となりました。

配当について

当社は、企業体質の強化及び将来の事業展開に備えて内部留保の充実を図りつつ、安定的な配当政策を維持することを基本とし、業績の推移と今後の経営環境等を総合的に勘案して決定する方針としております。配当につきましては、期初の方針に従い、中間配当を見送りとさせて頂き、期末配当として1株当たり20円を予定しております。

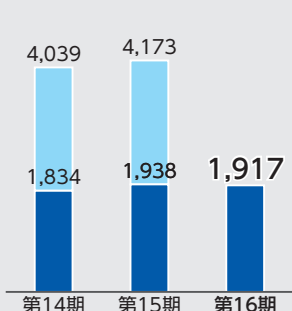
2018年度上半期 主な事業の取り組みについては次ページをご覧ください。

連結決算ハイライト

売上高

(億円)

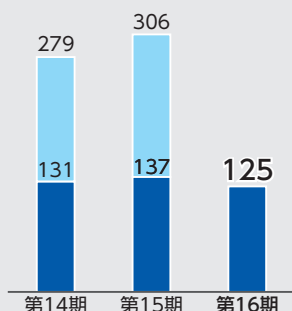
■ 第2四半期 ■ 通期



営業利益

(億円)

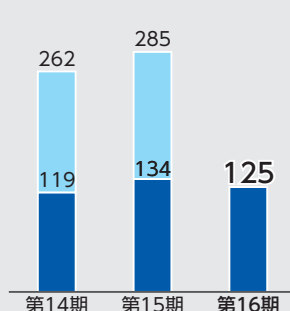
■ 第2四半期 ■ 通期



経常利益

(億円)

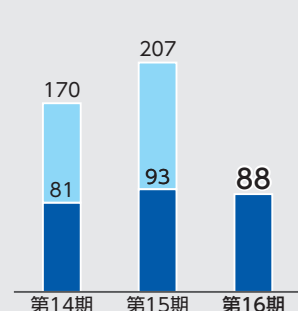
■ 第2四半期 ■ 通期



親会社株主に帰属する当期純利益

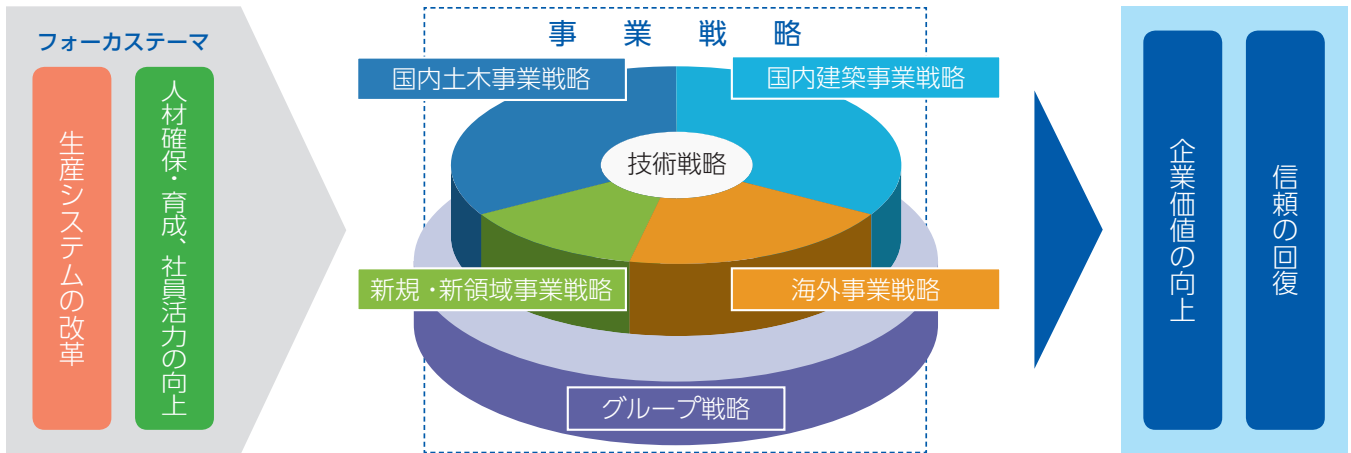
(億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



2018年度上半期 主な事業の取り組みについて

中期経営計画2016-2018では『信頼の回復と企業価値の向上』をテーマに掲げ、生産性の向上や担い手人材の確保・育成といった建設業の抱える課題に対して、2つのフォーカステーマを中心に、主要な事業分野において改善・改革に努めながら全力で取り組みを進めております。2018年度上半期における、主な事業の取り組み状況についてご報告申し上げます。



生産

プレキャスト工法、ICTを活用した生産性の向上

JR八王子駅南側で、地上26階建ての住宅棟と地上6階建ての商業棟を施工しました。住宅棟には、当社独自技術のプレキャスト工法を採用し、1フロアを4日間で施工することで工期短縮を図り、隣接する商業棟には、鉄骨建方工事に「BIM (Building information Modeling)」を活用し、3Dで可視化して、工事関係者間で施工手順等を情報共有することで、作業の効率化を図りました。今後もこうした技術を積極的に活用し生産性の向上を図ってまいります。



人材

教育・研修制度の充実による社員を育てる職場づくり

土木部門では、ものづくりの根本を理解することを目的に、当社PC工場において、新入社員実技合宿を実施しております。計画から施工までの一連の作業を全て自分たちで考え、2主版桁橋の製作に挑戦しました。建築部門では、どんな現場でも活躍できる人材育成を目的に、3つの現場を経験する研修と技術研究所において、合同実技合宿を実施しております。新入社員の段階からチャレンジ精神を育み、より実践的なスキルを磨く研修制度を今後も充実させてまいります。



土木

腐食劣化と決別した非鉄製橋梁を実用化、高速道路本線橋に初採用 ～超高耐久橋梁 (Dura-Bridge®)～

9 事業と技術革新の推進を促す



11 事業と技術革新の推進を促す



NEXCO西日本と共同研究を進めてきた、鉄筋やPC鋼材に替わる、腐食しない新材料を緊張材として用いた『超高耐久橋梁「Dura-Bridge (Durable Bridge)」』が、徳島自動車道「別埜谷橋(べっそだにばし)」に、新設の高速道路本線橋として初めて採用されます。本技術により、鋼材腐食によるコンクリート片はく落などによる第三者被害を防ぎ、耐久性の飛躍的な向上による維持管理費用の削減が可能となります。今後は、技術的知見や実績工事費を精査し、飛来塩分や凍結防止剤散布による鋼材の腐食環境が厳しい構造物へのさらなる展開を目指してまいります。



超高耐久橋梁の完成イメージ図 [提供：西日本高速道路(株)]

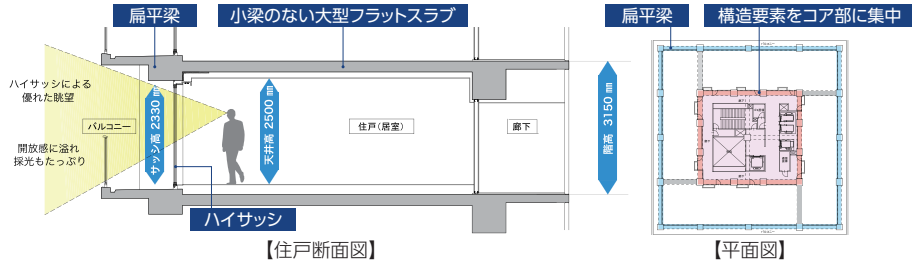
建築

「SuKKiT(スキット)※」シリーズに新たに加わる免震タワー型マンションの開発 ～「Sulatto Rotary Tower(スラット ロータリー タワー)」～

※「2015年度グッドデザイン賞」受賞。



当社オリジナルの集合住宅設計システム「SuKKiT」の技術を活用し、発展させた「Sulatto Rotary Tower」を開発しました。扁平梁でハイサッシによる開放感あふれた眺望と、住戸内の梁型を半減させることで使いやすい住空間を実現しております。付加価値の高い免震タワー型マンションに経済性も両立させるもので、首都圏をはじめ、全国の超高層マンション開発案件に積極的に提案し、展開を図ってまいります。



建物中央部(コア部)に構造要素を集約したことで、これまでと変わらない階高でダイナミックな眺望を実現



Sulatto Rotary Tower 外観イメージ

海外

東アフリカ タンザニア連合共和国で高架橋が竣工、開通式を挙行 ～タザラ交差点改良工事～



東アフリカに位置する「タンザニア連合共和国」の最大都市「ダルエスサラーム市」において、同国初となる交差点立体化工事が9月に竣工しました。ダルエスサラーム市は、タンザニアのみならず、東アフリカの内陸諸国の交通の要衝として重要な役割を担っており、近年の人口増加、経済活動の活性化から幹線道路の交通渋滞が大きな社会問題となっていました。この立体交差点は、同国の道路公社総裁の名にちなみ「ムフガレ・フライオーバー」と命名され、慢性的な交通渋滞の解消によって、タンザニア及び近隣諸国の経済発展に広く貢献していくことが期待されております。



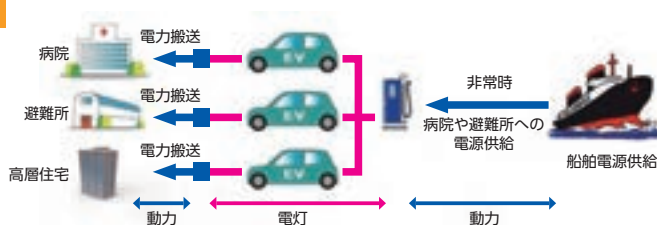
竣工した ムフガレ・フライオーバー

新規

災害時の停電を想定した電気自動車による超高層住宅エレベーターの稼働実証 ～陸・海 電力コネクティングシステム～



国立大学法人東京海洋大学と共同で開発した「陸・海 電力コネクティングシステム」は、船舶の電源を活用した電力供給システムに、蓄送電の手段として電気自動車を組み合わせたものです。実施した稼働実証試験では、フル充電の電気自動車電源で超高層住宅(43階)の最上階までエレベーターを100往復できることなど、大規模停電時に高層階からの避難や地上からの物資輸送に本システムが有効であることを確認し、事業化への目途をつけました。



【陸・海 電力コネクティングシステム(イメージ)】



電気自動車から超高層住宅のエレベーターへ電源を供給



当社は、SDGsに積極的に向き合い、事業活動に取り入れることで、持続可能な社会の形成と、企業価値の向上に繋げてまいります。

※SDGsについて

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、発展途上国のみならず、先進国自身も取り組む2016年から2030年までの国際目標です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



企業情報

会社概要 (平成30年9月30日現在)

商号 三井住友建設株式会社
(Sumitomo Mitsui Construction Co., Ltd.)
本店所在地 〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号
設立 1941年(昭和16年)10月14日
資本金 12,003,797,895円
従業員数 4,595名(連結) 2,760名(単体)
事業内容 建設事業: 土木・建築・プレストレストコンクリート工事の
設計・施工及びこれらに関する事業
開発事業: 不動産の売買、賃貸及び管理に関する事業

株式情報 (平成30年9月30日現在)

発行可能株式総数 533,892,994株
発行済株式総数 162,673,321株
(自己株式 2,090,302株を含む)
株主数 74,979名
所有者別株式分布状況



主要な営業所等 (平成30年9月30日現在)

当社
本店 東京都中央区佃二丁目1番6号
技術研究所 千葉県流山市駒木518番地の1
支店
北海道支店(札幌市中央区) 静岡支店(静岡市葵区)
東北支店(仙台市青葉区) 中部支店(名古屋市中区)
東関東支店(千葉市美浜区) 大阪支店(大阪市中央区)
東京土木支店(東京都中央区) 広島支店(広島市中区)
東京建築支店(東京都中央区) 四国支店(愛媛県新居浜市)
国際支店(東京都中央区) 九州支店(福岡市博多区)
横浜支店(横浜市神奈川区)
海外事務所
マニラ(フィリピン) ジャカルタ(インドネシア)
アム(アメリカ) バンコク(タイ)
ハノイ(ベトナム) ヤンゴン(ミャンマー)
シンガポール(シンガポール)

子会社

国内 三井住建道路株式会社(東京都新宿区)
SMCリフォーム株式会社(東京都台東区)
SMCプレコンクリート株式会社(東京都台東区)
SMC商事株式会社(東京都中央区)
SMCテック株式会社(千葉県流山市)
SMCシビルテクノス株式会社(東京都新宿区)

海外 SMCCフィリピンズ(フィリピン)
SMCCウタマインドネシア(インドネシア)
SMCCタイランド(タイ)
SMCCコンストラクションインド(インド)
SMCCオーバーシーズシンガポール(シンガポール)
SMCCマレーシア(マレーシア)
台湾三住建股份有限公司(台湾)

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
(中間配当を実施する場合は毎年9月30日)
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株式に関する住所変更のお届出先及び照会先について

住所変更等のお届出先及びご照会は、証券会社に口座を開設されている株主様につきましては取引の証券会社に、特別口座を開設の株主様につきましては下記の電話照会先までご連絡ください。

株式に関するマイナンバーの取扱いについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がある場合がございます。詳細につきましては、証券会社にて口座を開設されている株主様につきましては取引の証券会社に、特別口座を開設の株主様につきましては下記の電話照会先までお問い合わせください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120(782)031
インターネットホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 電子公告により行います。
(下記の当社ホームページに掲載いたします。)
<https://www.smcon.co.jp/ir/koukoku/>
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場金融商品取引所 東京証券取引所 市場第一部

単元(100株)未満株式の買増・買取制度のご案内

当社は「単元未満株式の買増制度」を導入しております。単元未満株式(100株未満)をご所有の株主様が、単元株式数(100株)にするための不足分を買い増しいただける制度です。

また、単元未満株式の売却を希望される株主様につきましては、買取制度がございます。

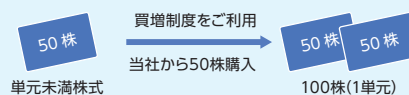
なお、当社では単元未満株式の買増・買取に関する手数料を無料としておりますのでご案内申し上げます(証券会社への手数料は取引の証券会社にご確認ください)。

いずれのお手続きも、詳細につきましては、証券会社にて口座を開設されている株主様につきましては取引の証券会社に、特別口座を開設の株主様につきましては左記の電話照会先までお問い合わせください。

単元未満株式の買増制度を利用

単元未満株式を当社から市場価格で買い増して、単元株式とする制度です。

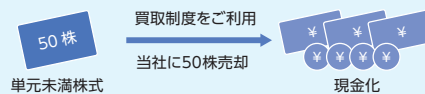
●50株をお持ちの株主様



単元未満株式の買取制度を利用

単元未満株式を当社に対して市場価格で売却する制度です。

●50株をお持ちの株主様



Sumitomo Mitsui Construction Co., Ltd.
〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号
<https://www.smcon.co.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。

